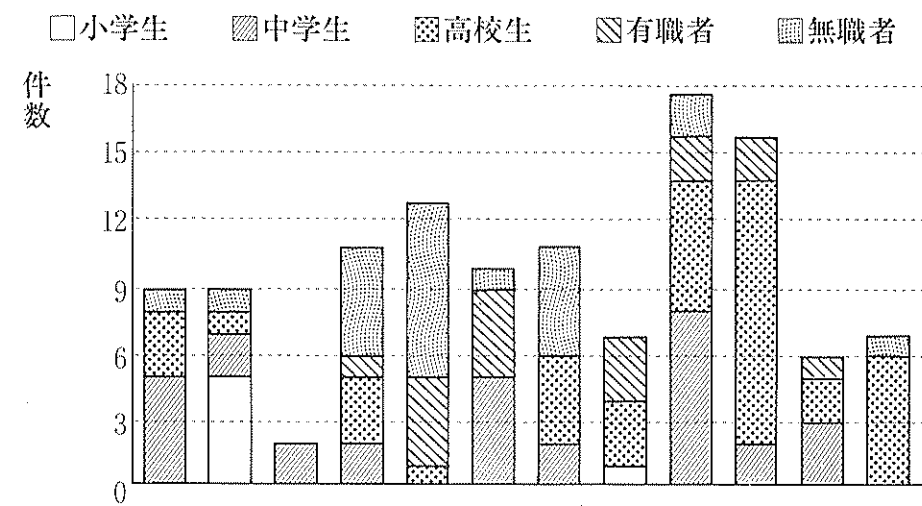


多い夏の事故

昭和61年月別補導件数



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
小学生	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中学生	5	2	2	2	0	5	2	1	8	2	3	0
高校生	3	1	0	3	1	0	4	3	6	12	2	6
有職者	0	0	0	1	4	4	0	3	2	2	1	0
無職者	1	1	0	5	8	1	5	0	2	0	0	1



今年もまた夏休みが近づいてきました。子供たちにとってこの休みは、開放感を味わえる一番楽しい時期ですが、また、生活のリズムがすっかり変わる時期でもあります。

上のグラフを見て下さい。これは、昭和六十一年の青少年の月別補導件数ですが、これによると、九月に件数が急増しています。これは、夏休みの過ごし方が大きく影響していると考えられます。夏休みは親子のふれあいの機会が多くなる時期でもあり、家庭教育が

いかに重要かということを表しています。

また、交通事故や水の事故も増加します。子供の水の犠牲者を統計から見ると、次のような特徴があります。

水遊びには保護者が同行

場所別では、河川が最も多く、次いで海、用水堀、湖、沼、池、プールの順です。

どんなときに命を落としているかというと、水泳中が一番多く、次いで水遊び中、魚釣り、通行中と報告されています。

保護者が同行せずに子供だけで行った場合に起きた悲劇が、やはり全体の約七割を占めています。

水の恐ろしさを教えよう

子供、とりわけ三歳から五歳前後の幼児は、水が命を奪う危険なもの、であることを知りません。水しぶきを見れば、本能的に遊び心がわいてきて、ヨチヨチ歩きで近づいていきます。ちよっとお母さんが目を離したスキに取り返しのつかない事態になることが多いのです。

また、小学生によく見られる事

故に、プールの排水溝に足を吸い込まれて水死するというケースがあります。

水遊びをするときは、次のような点にぜひ注意して事故を防ぎましょう。

○近くに用水堀やため池などの危険な場所があるときは、管理者に申し入れてサクやふたなどをして

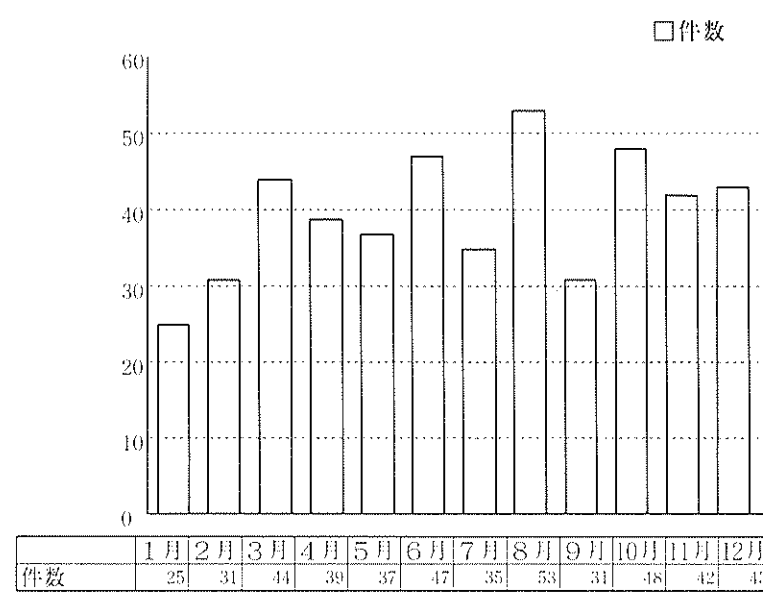
もらいましょう。

○子供たちだけで水泳や水遊びに行かないように普段から子供に言い聞かせましょう。

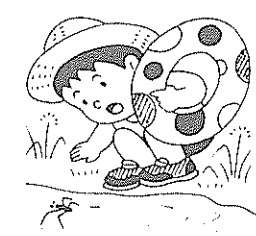
○出かけるときは、必ず大人が行くようにしましょう。

○雨が降ったあとは用や用水が増水します。子供たちを近づけないように特に注意してください。

昭和61年月別交通事故発生状況



ちがひへ。。。夏休み「夏休み」



子供たちにとって、楽しい夏休み。学校を離れて、伸び伸びと自由に遊べる休みです。本心に想像するだけでも胸躍る季節です。

ただ、この長い休みを上手に過ごせた子供と、そうでない子供の差は二学期にはつきりと表れます。普段できないことをこつこつやりぬいて心身ともにたくましく成長した子、その日その日をただなんとなく過ごした子、また、ふとしたことから悪い仲間と知り合い、非行に走り始めた子。

親にとっては夏休みは悩みの種でもあります。学校でもこの長い休みについては有意義な過ごし方について考えたり話し合ったりする機会は持っています。しかし、家庭でも休み中の目標や計画をじっくりと親子で話し合います。

さて、ある人は夏休みに「五つの挑戦」ということを子供に勧めています。それは、作る、調べる、集める、つづける、見るの五つの「です」。

たとえば小学生だったら、お父さんといっしょに日曜大工をして何か作ってみる、海や山へ行ったとき少し気を付けて子供の興味や関心のある植物や虫類を集めさせる、あるいは今まで実行できなかった日記を付け始めさせる、旅行をしていろいろな見聞を広めさせるなどが考えられます。この夏休みには平素できないことを体験させるチャンスです。できるだけ新しい体験をさせてやりましょう。

中学生や高校生のいる家庭では、子供の勉強面とともに、生活の乱れなどで非行に走りはいかないかと

1. 服装がハデ、オシャレになったり靴のかかとを折って履いたりする
 2. 持ち物のなかに普段見かけないものがある
 3. 帰宅時間や外出時間が遅くなっている
 4. 起床、就寝が遅くない
 5. 言葉遣いが反抗的になったり荒っぽくなっている
 6. 勉強はしているか
 7. 友達とは交わっていないか、ひそひそ電話が多くないか
 8. 偏食をしたり食べなかったりしないか
 9. 小遣いの使いみちは
- 以上の項目のなかで三つ以上「おや、変だな」と感じるところがあれば、生活の乱れや非行への赤信号だと判断してください。
- ところで、夏休みは暑さや気の緩みで交通事故や水の事故、あるいは病気などの心配もあります。家庭では学校で決められたことや社会のルールを守るよう注意してください。